



「学ぶとき」って、どんなとき？

中学1年生として過ごす時間も残りわずかとなりました。3学期になって少しずつ、でも確実に大人になっているなど、私たち教師も実感させてもらうことがとても多いです。

コロナ禍によって、本来予定していた「京都朝鮮中級学校との交流会」がなくなり、互いの学校で動画作成などで交流を行うこととなりました。

現在、それぞれの役割に分かれて交流準備を行っています。

○評議員＝昼休みに集まって計画を立てて、それを各クラスに説明をし、動画のシナリオ作りの指示。ビデオ撮影も自分達で行っています。

○学習協力委員＝学校紹介クイズをパワーポイントで作成。皆にアンケートを取って集計したものをクイズにしたりと、工夫をしています。



・・・そのほか、朝鮮と日本の歴史について事前学習用のパワーポイント作成も20名がコンピューター室で行っています。

一つの目的を持ってそれぞれが役割を持ち取り組むこと、教師に言われたままではなく互いにアイデアを出し合うこと、そしてその過程で失敗や、うまくいかない体験をすること。実はこの過程が一番自分にとって「学び」が多いと思います。完璧なものができるのに越したことはないですが、「もっとこうしておけばよかった」「こうすればもっといいものができた」と実感し、次の糧にすること・・・この体感が「自分自身にとっての学び」になるはず。まずは、何をしたらいいかすべきかを考え、自ら動いてみることに挑戦しましょう！

学習確認プログラム(2/4(木)) & 第4回定期テスト(2/24(水)~26(金))

学習確認プログラムの予習シートを年明けから、【毎日の宿題】としてページ取り組んでいます。担任の先生の声かけもあってか、毎朝忘れずに皆が提出できるようになってきました。

2学期は多くの人が宿題を忘れ、昼休みに呼ばれるということが続きましたが、3学期になって「宿題の提出」については定着してきたなと感じます。

でも、まだ数名は、答えを丸写しして「ただ提出するため」だけのために宿題をしている人がいます。上記で述べているように、間違ったときが一番学びが深まる時です。『①自分で取り組む⇒②自分で解説を見ながら答え合わせをする⇒③自分の間違いに気づき、どうして間違っただのか、自分がわからないところはどこかをとらえる⇒④わからないところは先生に学校で聞く』。

【毎日の宿題】は20分ほどでできる量です。この毎日20分を①～④の学習スタイルで確立すれば、必ず力が着きます。もうすぐテスト前になりますので、しばらくはこの20分を少なくとも1時間にして取り組みましょう。

(放課後自主学習(2/9(火))や土曜自主学習会(2/20(土))もぜひ活用してくださいね！)

保護者の皆さまへ

2月に入り、いよいよあと2か月で新学年へと進級します。

中学生としての自覚も芽生え、何事もしっかり取り組めるようになってきました。

ご家庭でも引き続き励ましをお願いいたします。

文責＊主任：天谷